

AsiaNet 71485 (2017)

アントン・バーコフ氏が 100 年の空白後にセンセーショナルなロマノフ王朝の復活を発表

【エカテリンブルク (ロシア)、バンジュール (ガンビア) 2017 年 12 月 9 日 PR Newswire = 共同通信 JBN】ロシア連邦君主制主義者党 (Monarchist Party of Russia) の創設者は 12 月 6 日、エカテリンブルクのタス・プレスセンターで記者会見した。

バーコフ氏によると、彼の発表を支持する文書がエカテリンブルクで丁寧かつ象徴的に公表された。この都市は最も陰惨で冷酷な国王殺しを目の当たりにした。記者会見で、記者たちはガンビア・イスラム共和国とロマノフ帝国との間の友好協力覚書を示された。それは 12 月 1 日にガンビアの首都バンジュールでガンビアのダウダ・D・ファデラ事務総長とロマノフ王朝のモドゥー・ラミン・サイディカーン外相との間で調印されたという。

マルチメディア・ニュース・リリースは以下を参照：

<https://www.multivu.com/players/uk/8236851-anton-bakov-restoration-romanov-dynasty/>

その文書によると、西アフリカのガンビア共和国はロマノフ帝国を公式に認め、同帝国と外交関係を樹立した最初の政権という。ロマノフ帝国はそれと引き換えにガンビアの予算に 6000 万米ドルを支払うことで合意した

新ロマノフ帝国はガンビア共和国の領海内にある 10 平方キロメートルの陸塊をもつ人工島に建設される。モナコの 5 倍の広さがあるこの領土は、帝国の主権管轄の下に置かれる。島には、アフリカで最初のスマートシティ、帝国の首都、サンクトニコライが創設される。首都の名前はエカテリンブルクで暗殺されたニコライ 2 世を記念したものだ。

それに関してバーコフ氏の発表によると、ロマノフ帝国は仮想国家の段階から抜け出し、一部で承認された国になる。バーコフ氏自身がロマノフ帝国の首相兼最高裁長官の地位に就く。

ロマノフ帝国の元首は、ニコライ 3 世で、アレクサンドル 2 世とビクトリア女王の 4 代目の孫で、キリル 1 世のひ孫である。

人工島とガンビアとの政府協議の概念化は 6 年がかりで行われ、バーコフ家は 600 万米ドル以上を費やした。バーコフ家の家長とともに、妻のマリナ、息子のイリヤとミハエルや、さまざまな異なった国々からの志を同じくした個人の大チームが、このプロジェクトに参

加した。

▽問い合わせ先

press@romanovempire.com

Romanov Empire Official

romanovempire.com